

西鉄春日原駅周辺整備事業説明会を行いました

平成23年5月30日に春日原公民館、平成23年5月31日に春日原南公民館において、西鉄春日原駅周辺整備事業説明会を開催しました。今回は事業計画を変更したことによる説明会でした。

説明会概要

1. 春日原駅周辺のまちづくりの概要

春日原は春日市を含める周辺地域の中心的な都市機能を担っていますが、駅周辺の整備の遅れによって機能性や快適性が損なわれていることが問題点と指摘されています。

このことにより、西鉄天神大牟田線連続立体交差事業に併せて西鉄春日原駅周辺整備事業（駅前広場、幹線道路の整備）を行うことで、駅周辺を一体的に整備し、より使いやすく、より快適な空間にしていきます。

2. 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（福岡県施行）

福岡市との市境である大野城市栄町から春日原駅、白木原駅、下大利駅を通り、大野城市下大利まで約3.3kmの鉄道の軌道を高架化する事業です。

平成22年7月に事業計画の変更が行われました。変更点は2点あります。

(1) 事業期間の延長

平成26年度完了の予定→平成33年度完了予定（約7年間の延長）

(2) 福岡市の雑餉隈連続立体交差事業の実施

福岡市でも雑餉隈から南の大野城市市境までの1.9kmを高架にするよう計画されています。春日原から下大利までと併せて約5.2kmの鉄道施設が同時に高架化されることとなりましたので、すり付け区間（約160m）が必要なくなりました。

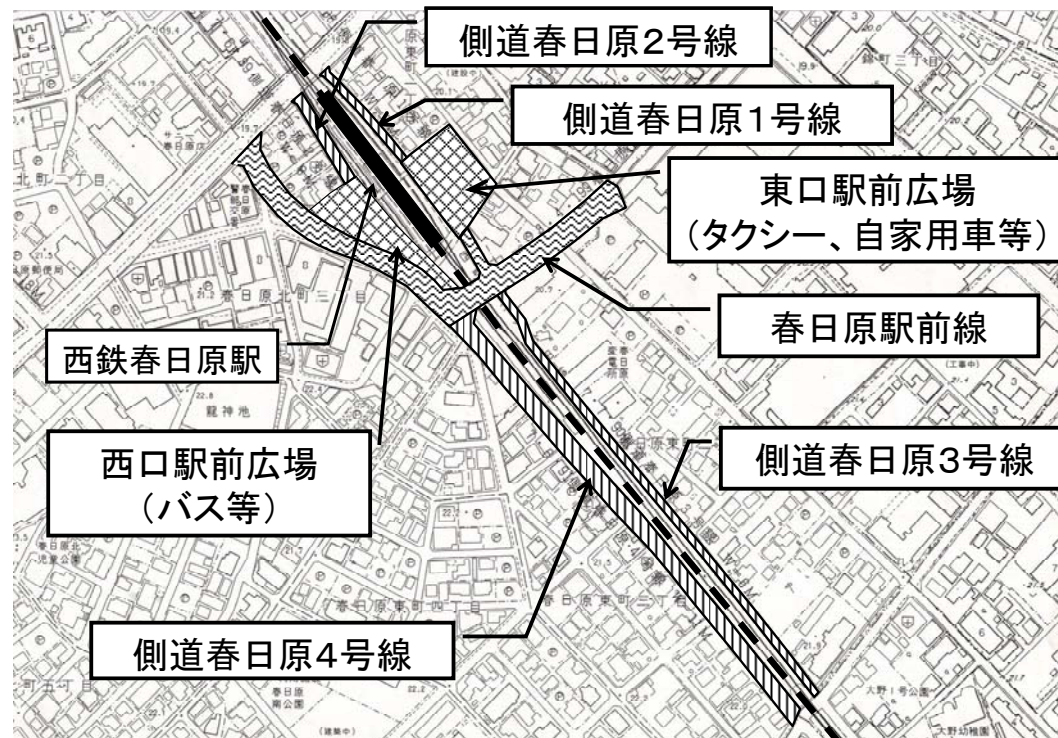


図1 西鉄春日原駅周辺整備事業

3. 西鉄春日原駅周辺整備事業（春日市施行）

図1に示すように駅周辺の街路、駅前広場の整備を行います。

今回の事業計画変更の概要を右の表に示しています。

(1) 区間の変更理由

図3のようにこれまでは駅西側に再開発事業として再開発ビルと駅前広場、駅前線の一部を整備する予定でした。しかし、経済状況の変化により、事業の採算性がとれなくなったため、平成22年3月末に再開発準備組合を解散し、再開発を断念しました。そのため、図4のように平成23年3月にこれまでの区間の延長という形で再開発事業として整備する予定だった地域を街路事業として認可を取得しました。

(2) 期間の延長理由

連続立体交差事業の延長に伴い、それぞれの街路事業も期間を延長しました。駅前広場、側道は工事ヤード、仮駅舎として利用されることから、道路整備は連続立体交差事業の終了に合わせて実施するため、期間を平成34年度まで延長しました。

4. 今後の予定

建物調査を行い、その調査を踏まえて随時用地交渉を開始します。ご質問をいただいた春日原駅前線の交差点処理や高架下の利用については協議を進めています。事業完了までのスケジュールについては別紙でご確認ください。

5. 最後に

出席された皆様から貴重な意見を多数いただきました。これからも説明会等を通じて情報提供を行い、皆様から意見をいただきながら、よりよい駅周辺の整備に取り組んでいきたいと思っております。

なお、内容についてご不明な点がありましたら、下記連絡先までご連絡ください。

事業計画変更の概要

- 春日原駅前線
※東口駅前広場、西口駅前広場を含む

	変更前	変更後
道路延長	約220m	約330m
西口駅前広場面積	約1,900㎡ 街路 約800㎡ 再開発 約1,100㎡	街路 約1,900㎡
期間	平成26年度まで	平成34年度まで

- 側道春日原1号線、側道春日原3号線
期間の延長 変更前 平成26年度
変更後 平成34年度

事業認可路線
春日原駅前線
側道春日原1号線、側道春日原3号線



図3 これまでの事業計画範囲



図4 平成23年3月事業計画変更範囲

連絡先

春日市都市整備部都市計画課連立まちづくり担当
電話 092-584-1111、ファックス 092-584-1143